

「森の世話人」新人さんが初挑戦！

～土砂災害と対策&森づくり活動 (株)紅中 新入社員研修～

～六甲砂防事務所～

「森の世話人※」である(株)紅中の新入社員の方々に、六甲山で発生した土砂災害の歴史と砂防堰堤による災害対策について、土石流模型実験と合わせて説明し、現地では森づくり活動に初挑戦して頂きました。

砂防堰堤の効果について理解を深めるとともに、森づくり活動の体験で【六甲山の森づくり】に高い関心を持って頂きました。

概要

- 日時：令和6年4月19日（金） 9：30～15：00
 場所：六甲砂防事務所、森の世話人活動エリア（神戸市東灘区）
 参加人数：新入社員8名、引率2名
 実施内容：■事業概要説明【六甲山地における土砂災害と対策】
 ■土石流模型実験
 ■森づくり活動【下草刈り、間伐体験】

事業概要説明【六甲山地における土砂災害と対策】



土石流模型実験



～質疑応答（抜粋）～

Q1：砂防堰堤に貯まった土砂は撤去していると説明がありましたが、撤去した土砂の行き先はどこですか？

→今後の課題の1つになっています。現在は主に、土砂処分業者に引き取ってもらい処分しているのが実情なのですが、道路の盛土工事や、河川の堤防工事などと連携して、発生土を有効活用する取り組みを進めているところです。

Q2：透過型堰堤が土石流を捉えている写真がありますが、鋼製スリットの間隙から流れ出る細かい土砂はそのまま流れても問題ないのですか？

→鋼製スリットの間隙は、上流側の岩石の大きさを調査したうえで決定します。下流側が整備されていることが前提にはなりますが、土石流が発生した場合、大きな岩石が鋼製スリットで捉えられることにより、その隙間はさらに狭くなります。そうなることにより、土石流全体の量に対し、隙間から流出する土砂はごく僅かとなるので、問題ありません。

森づくり活動【下草刈り】



暑い中、お疲れさまでしたっ！

森づくり活動【記念撮影】



森の大切さを
学んでもら
いました。

～感想～

- ・大正から続く六甲砂防の歴史を学ぶことができました。
- ・模型で土石流の構造も学ぶことができました。
- ・これからはもしっかり森を守っていきます！！

※「森の世話人」

六甲山系グリーンベルト整備事業地において、森づくりを実施しようとするNPO、または市民団体、企業等をいいます。



六甲砂防事務所のHPでは、事業の詳細や過去の災害に関する記録等を掲載しています。
詳しくはQRコードよりHPをご覧ください。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局

六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052

神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

